

令和4年5月11日（水）



—昨日の9日（月）は、飯豊町教育研究会全体会のため、4校時授業でした。午後からの長い放課後の時間利用して、今回の「わくわく3KEN広場」は、西部地区公民館を訪問して交流活動を行いました。

はじめに館長さんからごあいさつをいただきました。その中で、今、飯豊町の人口がどんどん減ってきていること、校区内では、手ノ子地区が約450人、高峰地区が約280人、中津川地区が約220人ほどの人口になっていることを教えていただきました。

そして、できれば将来、手ノ子小のみんなが大人になった時も、できるだけたくさんの方が飯豊町に残って暮らしたいってほしいなという願いを持っているということをお話しいただきました。

その後、「飯豊町の方言」というタイトルで、数ある中から厳選された60の方言を紹介していただきました。

今年度から、学習発表会を発展的に解消し、西部地区公民館と中津川地区公民館の文化祭で、クラブ活動の発表を行う予定です。今後とも、両公民館と連携を図りながら、地域の方々から郷土の自然や文化を学ぶことで、自分の活動が身近な地域や社会に役立つ成功体験を味わい、自己肯定感を高めていきたいと思います。

令和4年5月12日(木)



本日から1泊2日で、5・6年生の宿泊学習を実施します。今年度、担任の発案で宿泊場所や活動内容を見直し、学区にある観光資源を活用した宿泊学習を地域学校協働活動推進員と計画しました。

出発式の校長の話では、9日(月)に西部地区公民館長さんから、手ノ子・高峰・中津川地区の人口が減っているというお話を頂いたことを受けて、

「学区にある白川湖、農家民宿、源流の森等に観光で訪れる人が増えれば、交流人口が増え、地域が元気になります。日本版ナショナルジオグラフィック5月号に、白川湖の『水没林』の写真を載せてくださった山形市の写真家の小関さんのように、みなさんも、宿泊学習で体験したことを、置賜地区はもちろん、県内、全国の方々に知らせてほしいと思います。そのためにも、中津川地区の自然の美しさ、美味しさ、気持ち良さなど五感をフルに使って、存分に楽しんでください。」

というような、「交流人口」の話をしました。

5・6年生6名は本日、農家民宿「いろり」さんに宿泊し、山菜取り・山菜料理等を体験する他、「いいでカヌークラブ」さんのご指導の下、白川湖でカヌー体験を行う予定です。明日は、源流の森にある「冒険の森」に挑戦する予定です。

最後になりますが、山形市の写真家の小関一成様より、本校に白川湖の水没林の写真集「霧幻の森」を2冊寄贈していただきました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。



令和4年5月20日（金）



本日、祖父母学級授業参観・総会を実施することができました。授業参観では、3・4年生、5・6年生の両クラスとも、今年度の研究で力を入れている算数科の複式授業を参観していただきました。

また、総会では、今年度の祖父母学級研修会について協議し、音楽家の方によるピアノの弾き語りと講話を、祖父母と子どもたちが一緒に鑑賞する内容に決まりました。会員数が減少する中でも、何とか事業費の予算を確保し、お孫さんたちのために事業を実施したいという強い思いが伝わってきました。

校長からは、冒頭の挨拶時にお時間を頂戴して、学校経営の概要説明に加え、家庭での生活習慣づくりについてのミニ研修を行うことができました。県教育委員会から出されている、「子どもの生活習慣に関する指針」学習資料の「やまがた子育て5か条」を活用しました。

今年度の創立記念式で紹介した、創立120周年記念誌「はばたく」に、祖父母学級についての記載がありました。学校側からの連絡だけでなく、祖父母自身で行事をやり、孫の躰のためにもっと勉強する必要があるだろうとの提案で、平成元年6月22日に設立総会が行われたそうです。30年以上の長きにわたり伝統を引き継ぎ、お孫さんに寄り添い、自ら学び続ける姿を見せてくださる手ノ子小の祖父母の皆様には敬意を表するとともに、ご協力に改めて感謝申し上げます。

令和4年5月25日（水）



本日の2校時に、置賜教育事務所指導課青少年指導担当の方と長井警察署生活安全課の方をお招きして、子どもたちが校外での不審者対応についての学習会に参加している間に、教職員が不審者侵入対応訓練を同時進行で行いました。今年度は、授業の為に教頭が職員室に不在で、代わりに担任が職員室で仕事をしているという想定で担任が加わりました。校長を訪ねてきた来校者が、校内に入った後に急に暴れ出したのを制止するために、3人で刺股を使用するという訓練でした。

置賜教育事務所指導課青少年指導担当の方からは、「まずは玄関のセキュリティー（モニター付きインターフォン、オートロック、テレビカメラ）がしっかりしていて素晴らしい。来客に初めに対応する先生が、パイプダーを片手に持って安全を確保しようとしていたことや、軽量の刺股を新たに購入し、3人以上で対応しようとしていること、応援がくるまで刺股を反対に持って対峙しようとしていることも、昨年度の課題を生かしていて素晴らしい。今後とも、本日の訓練を通してマニュアルをブラッシュアップしてほしい。」

とご指導いただき、訓練の内容が充実していることを昨年度に引き続きほめていただきました。また、

「不審者に背中を向けないように気を付ける。刺股は不審者に見えない所に保管しておかないと、逆に不審者の凶器となってしまう。刺股で複数で対応する際は、凶器の長さの分も間合いに気を付け、不審者の前方と背後から挟み撃ちにするとよい。」

といった貴重なご助言をいただきました。